



No. 138

富士山憲章 NewsLetter

2022 Withコロナ時代の新たな富士登山

—安全で快適な登山を楽しむために—

美しい富士山を後世に引き継ぐために・・・

—富士山美化啓発キャンペーン—

—富士山レンジャー写真展2022—

本編目次

富士山憲章News 1

2022 Withコロナ時代の

新たな富士登山 ... 3

富士山レンジャー活動報告 ... 5

日本の協力金制度/

新任レンジャー紹介 ... 6

富士山世界遺産センター

だより 7

おしらせ 9

(写真提供 山梨県富士山レンジャー)

令和4年度 富士山憲章

山梨県推進会議幹事会の開催

令和4年5月23日(月)山梨県立富士山世界遺産センター北館研修室において、令和4年度富士山憲章山梨県推進会議幹事会が開催されました。



令和4年度幹事会の様子

富士山ボランティアセンターを運営している富士山憲章山梨県推進会議は、山梨県と富士北麓地域の7市町村(富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町)、2つの恩賜林組合(富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合)で

構成されており、平成10年に山梨・静岡両県で制定した「富士山憲章」の普及啓発や、富士山の環境保全と適正利用を推進する活動を行っています。年に1度行われる幹事会では、前年度の活動内容が報告されるとともに、さらに多くの方々に「富士山憲章」を知ってもらい、富士山の保全活動に協力してもらうための今年度事業を決定しました。

令和3年度 活動報告

昨年度も、多くの方々に当センターの事業にご協力いただきました。ありがとうございました。

令和3年度も前年に続き新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館や各種イベントの中止など、大変厳しい状況にありました。2年ぶりの夏山開山の中、登山客や観光客の方に「富士山にゴミを持ち込まない・捨てない・気づいたら拾う」という趣旨のもと、呼びかけやゴミ袋配布と清掃活動を行う「富士山美化啓発キャンペーン」も多くのボランティアの方々に参加予定でしたが、中止を余儀なくされました。

思うような環境保全活動ができない状況でしたが一部の事業については、参加人数の制限など規模を縮小し、活動を実施しました。

富士山の自然を感じながら歴史、文化を学ぶ散策と清掃活動を行う「富士山エコトレッキング」は7月、10月に開催。



富士山エコトレッキング



第19回 富士山へ謹賀新年 最優秀賞(小学生の部) 作品

また、国道清掃キャンペーンや富士山麓古タイヤ等不法投棄防止集中キャンペーンの実施。国道沿いに捨てられたゴミの回収、観光客の方々に現状を知ってもらう不法投棄防止の啓発活動も行いました。

年間3回発行しているニューズレターでは「夏山登山」「冬山啓発」など掲載し安心・安全な富士登山を紹介しました。

「第19回富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状」には、44都道府県から1645点のご応募をいただきました。富士山への思いあふれる作品の中から、入賞20点は富士山ボランティアセンターのHPにてご覧いただけるとともに、入賞・入選200点は県内外での巡回作品展でもご覧いただけます。

令和4年度 事業内容

令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの中止など可能性はありますが、一方で制限緩和の動向もみえてきました。美しい富士山を末長く後世に引継いでいくため、富士山憲章の普及・定着を図る活動を行うとともに、富士山の環境保全に向けて、多くの方に積極的に行動いただけるような取り組みを進めて参ります。

主な事業として、

まず、「富士山エコトレッキング」は、富士山の溶岩が創造した森を解説を聞きながらまわるコースや、自然に満ちた道をたどりながら富士登山の魅力を味わえるコースを予定しています。

次に、「富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状」については、20回目を迎える今年も富士山への愛に溢れた作品を全国から募集します。入賞・入選200点については、県内外各所にて巡回作品展の開催を予定しています。



巡回作品展の様子

また、富士山及び北麓地域の美化清掃をしてくださる方等に清掃用ゴミ袋や軍手、「富士山環境保全ガイドブック」を無料で配布します。



富士山環境保全ガイドブック

ガイドブックは富士山の気象・地形・地質・動植物・歴史・文化や保全対策など小学校・中学校・学年児童から学べる内容です。

詳しくは、富士山ボランティアセンターまでお問い合わせください。

富士山環境保全募金・寄付金
募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、皆様へ募金のご協力をお願いしております。寄せられた募金は、富士山の環境保全のための費用として大切に活用させていただきます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひします。

カラマツから作られた募金箱を次の場所に設置しています。

- ・ 富士山ボランティアセンター
- ・ 山梨県富士山科学研究所
- ・ 道の駅 富士吉田
- ・ ふじやまビール
- ・ 三ツ峠グリーンセンター
- ・ 富士湧水の里水族館
- ・ 山中湖観光案内所
- ・ 山中湖温泉 紅富士の湯
- ・ 山中湖 花の都公園
- ・ 富士河口湖観光総合案内所
- ・ 河口湖自然生活館
- ・ 道の駅 なるさわ
- ・ 身延町みすきふれあい館



富士山環境保全募金箱
〈オリジナルデザイン〉

※一万円以上の寄付をいただいた方、団体には感謝状を贈呈します。ご協力いただける方は、富士山ボランティアセンターまでご連絡をお願いします。

第19回富士さんへ謹賀新年

「富士山あて年賀状」
入賞・入選作品展のお知らせ

「第19回富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状「入賞・入選作品展」を開催しています。コロナ禍の閉塞感から人々の願いや祈りを反映した富士さんへのメッセージが44都道府県から数多く寄せられています。富士山への愛に溢れた力作をどうぞご覧ください。今後の開催スケジュールは次のとおりとなります。

- 7月7日(木)～7月28日(木)
山中湖温泉 紅富士の湯
- 8月1日(月)～8月31日(水)
山梨中央銀行本店
- 9月1日(木)～9月19日(月・祝)
四季の杜おしの公園
小池邦夫絵手紙美術館
- 令和5年1月9日(月)まで
山梨県内外で開催

なお、開催日程等に変更の可能性がありますので、富士山ボランティアセンターHPにて最新の情報をご確認ください。

富士山ボランティアセンターHP

富士山ボランティアセンターのHPでは、ボランティア活動の募集や富士山レンジャー写真展など含め富士山関連情報を紹介しています。

ニューズレターのバックナンバーからは、安全な登山のポイントなどの記事も人気です。

また、富士山が世界遺産に登録された背景、植物の分布、美しい景観を守るための活動などを写真や図を交えて分かりやすく紹介している「富士山憲章ワークブック」は、富士山の自然や動植物、今抱えている問題などについて、自分たちで調べながら学べる内容となっています。

富士山憲章ワークブックは、富士山ボランティアセンターHPからもダウンロードできます。「富士山環境保全ガイドブック」と合わせ、富士山学習等にご活用ください。



富士山憲章ワークブック

(<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>)





富士山頂から御来光を待つ様子(8月)

一昨年は、富士山の夏山登山が不可となり、昨年は感染症対策を実施したうえでの開山となりました。

昨年の登山者数はコロナ禍以前の3割程に留まりましたが、今季は移動制限がない中での開山となることから登山者数の増加が予想されています。

安全で快適な富士登山を楽しんでいたため、今回は、With コロナ時代における吉田ルートからの登山情報、混雑を回避する日程やプランニングを中心にお話します。

富士登山の準備・下調べ

富士登山に関する最新情報は、富士登山オフィシャルサイトを参照ください。同サイトには、富士登山に関する情報が多岐にわたって丁寧に記載されています。

富士登山は、事前の情報収集や準備をしっかり行うことで、より安全・快適に楽しむことが出来ます。

安全で快適な登山を楽しむためには、途中で1泊するようなゆとりある登山計画を立てることが望ましいです。その際、山小屋は予約制になっていますので、必ず予約をしてください。「富士登山オフィシャルサイト」内の「登山をより楽しむために」▼「山小屋情報」に山小屋

のリンクがあります。事前に最新の情報を確認しましょう。

また、今夏も各山小屋は密を回避するために収容人数を例年よりも減らしています。そのため、個人での予約が取りづらくなることも考えられます。

その場合は、登山ツアーに申し込むのも一つの方法です。宿泊、交通の手配だけでなく、装備のレンタルまで含まれる登山初心者の方向けのプランもあります。ガイド付きプランやフリープランなどもありますので、そういった選択肢を検討するのも良いと思います。

早朝発 日帰り登山は健脚向け

富士登山には、日帰り登山という方法もあります。吉田ルートの標準登山時間は登りが約6時間、下りが約4時間、休憩を含めると合計約11時間必要となります。さらに、出発前に、五合目付近の標高で1時間から2時間程度休憩し、高山病の予防のために高度順応することを考えると13時間程度時間が必要となります。

日帰り登山はご自身の体力と相談した上での健脚向けプランと言えます。

山小屋から

ゆったり楽しむ御来光

富士登山が初めてという方にはさらにゆとりを持ち、山小屋で御来光を見る行程がおすすめです。

多くの方は富士山の山頂から御来光を観たいという気持ちが強いと思いますが、吉田ルートの山小屋はどこからでもきれいな御来光を見ることが出来るのです。

山頂で御来光を迎えるためには、夜間に並びながら登山する覚悟が必要です。時間帯によって七合目付近から山頂にかけて長い区間にわたって混雑する可能性があります。八合目から頂上に到着するまで、渋滞等により日中の約2倍の時間がかかることもあります。その点、山小屋でゆっくり御来光を迎え、明るくなつてから山頂を目指せば、足元もよく見え、渋滞も少なく安全・快適に富士登山を楽しむことができます。



吉田口登山道 九合目～山頂
繁忙期の御来光渋滞(8月)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

7/1(金)：開山日①[吉田ルート]
 7/10(日)：開山日②[須走・御殿場・富士宮ルート]
 7/18(月)：海の日
 7/29(金)：登山競走[吉田口]
 8/11(木)：山の日、9/10(土)：閉山日

■ 特に混雑 ■ 混雑 ■ やや混雑 ■ 平常

(富士山混雑情報カレンダー)

混雑を回避して

快適な富士登山

富士山では週末と祝日、8月のお盆に特に登山者が集中する傾向があります。カレンダーの「特に混雑」する日には、御

来光前の登山道では渋滞で思うように進めないことが予想されます。

混雑しない平日に計画を立てることで、自分のペースで安全に歩けます。

どうしても混雑が予想される日にしか予定が取れない方には、先ほどご紹介した小屋で御来光を見てから山頂を目指すプランをおすすめします。

混雑を避けた分散登山については、「富士山オフィシャルサイト」内の「登山の前に必ず知っておくこと」▼「登山行程」で、解説動画を観ることができます。

登山中の感染症対策

富士登山は、当然のことながら屋外での運動になります。マスクなどを常時装着していると息苦しいのはもちろん、酸素の薄い高所では十分な呼吸ができず高山病のリスクが高まります。歩行時は、周囲の人との距離を確保してマスクを外し、家族など身近な同行者以外の人とはソーシャルディスタンスを確保してください。休憩ポイントや山小屋前等、人との距離が縮

まりやすい場所では、マスクや手ぬぐい、ネックゲーターなどで口元を覆うなどエチケットを守りましょう。

また、マスクは、晴天時の下山道の砂ほこり対策にもなりますので、予備も持参しましょう。

※山小屋到着後は各山小屋の指示に従って下さい。

環境省や山梨・静岡両県ほか、富士山に

関係する各種団体による「富士山における適正利用推進協議会」では、富士山における新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めるため、「Withコロナ時代の新しい富士登山マナー」を発表しています。左下に記載の検索ワードから事前に確認をお願いします。

富士登山の心構え

富士登山は、標高3000mを遥かに

超えていく登山です。夏山とは言え、荒天時はとても厳しい山になることを忘れてはなりません。ご自身の体調をよく考えつつ

決して無理をしないことは、登山の大前提です。また、登山は登頂して終わりではあり

ません。特に富士山の場合は、長く単調で、細かい溶岩で足元が滑りやすい下

山道が待ち受けています。必ず下山の気力と体力を残しておきましょう。体力配

分は「上り4、下り6」の心づもりでいてください。

ご自身の体力等と相談しながら不測の事態にも対応できるゆとりを持った計画でお越しください。

そして、富士山レンジャーが登山道を巡回していると、ソールが剥れてしまった方に毎年遭遇します。

靴底がはがれた場合は、靴の上から靴下を履く、ヒモ、結束バンドで縛るなどの方法がありますが、そのような状態にならないよう、出発前に必ず確認をしておきましょう。

古い靴の場合は、靴底が劣化してはがれやすくなっていますので、特に注意が必要です。登山靴に限らず、今年は久々に登山に行かれるという方は、事前に装備品のチェックをしてから行きましょう。



(ソールの剥れた登山靴の応急措置)

詳しい情報はこちら

富士登山 コロナ対策

検索

富士登山オフィシャルサイト
<http://www.fujisan-climb.jp>



2022年3月～2022年6月

富士山レンジャー活動報告

上級救命講習会

富士五湖消防本部にて上級救命法を受講しました。毎年冬に開催されるこの講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となっていました。今年4月22日(金)に約2年半ぶりの開催となりました。

救急救命士の資格を持った救急隊員の方々が講師となり、はじめに座学にて応急手当の基礎知識を学び、その後、AEDを使用した心肺蘇生の実技、毛布や椅子などを使った傷病者の搬送法、三角巾を使った応急手当の方法などを実習しました。



AED実技@富士五湖消防本部

自然保護がレンジャーの主な業務ではありますが、巡回中に人助けが必要な

場面に遭遇した際には、少しでも役に立てるようにしておきたいと思います。

五合目勤務者研修



五合目勤務者研修@富士吉田合同庁舎

5月12日(木)、富士吉田合同庁舎にて山梨県世界遺産富士山課の主催で行われた、富士山五合目勤務者研修会に参加しました。

富士山の安全対策、登下山道パトロールや維持管理、安全誘導員及び巡回指導、富士山スバルライン、富士山保全協力金、救護所及び救護所マニュアル、感染症対策及び緊急時の対応、インフォメーションセンター、海外からの来客対応、世界遺産としての富士山などについてそれぞれの団体から説明があり、情報を共有しました。レンジャーからは富士山レンジャーの富士山開山期の活動について発表しました。

石割山登山道補修作業の協力

環境省のグリーンエキスパート事業が今年度より行われます。国立公園など、自然環境のすぐれた地域において、地元の住民団体による環境保全活動を推進する事業で、5月27日から6月5日の間、山中湖の石割山の登山道補修の作業がありました。石割山はレンジャーも登山巡回をすることが多い場所で、ここ何年か登山道の荒廃が進んでおり非常に歩きにくくまた危険なことが、とても気になっていました。



登山道補修作業@石割山

レンジャーは6月1日(水)に、補修作業現場の近くで東海自然歩道の定期点検の業務がありましたので、点検前に立ち寄り、1時間ほど視察と作業の手伝いをしました。今回の補修作業は「近自然工法」と呼ばれる工法で行われました。

自然界の構造を施工に取り入れ、自然の作用(浸食、運搬、堆積)を利用する方法です。その施工を行うことでいずれは生態系が復元し、復元した植物により土壌が安定し、結果的に長持ちする、というものです。

富士登山講習@モンベル御徒町店

6月12日(日)、東京都台東区のモンベル御徒町店にて、富士登山講習を行いました。約3週間のレンジャー写真展の最終日でもあり、写真展をたまたま見に来店されたり、前もって電話で予約された方など18名ほどが参加されました。



「富士山登頂の秘訣」@モンベル御徒町

た。ほとんどが登山の初心者で一度は富士山に登ってみたいが、どうしたら良いのかわからないという不安をお持ちでした。登山の日程、登山道の様子、装備、注意点などについてレンジャーとしての経験からお話をさせていただきました。

日本の協力金制度



(全国の国立公園で導入されている
主な協力金制度一覧)

出典：NHK NEWS おはよう日本 北アルプスに
登れなくなる!?ワンコインで登山道
整備に貢献

国立公園をはじめとする自然保護地域では、その地域を訪れる来訪者に対して資源管理や施設管理のために必要な費用の一部を求める動きが近年広がりつつあります。背景としては、行政の予算のみでの管理運営が困難になってきていることが主な要因として考えられます。特に、協力金制度は導入に際して条例等が必要なく、比較的導入がしやすいため、全国の自然保護地域で導入されています。

富士山では、2014年から富士山保全協力金制度が実施されています。富士山の環境保全や登山者の安全対策等を図ることを目的に、五合目から先に立ち入る来訪者に1人1000円を任意で徴収しています。

では、徴収された協力金はどうのように使われているのでしょうか。また、徴収率はどうのようになっているのでしょうか。国内の代表例のひとつと言える富士山保全協力金を例に説明します。

協力金の徴収率		
	静岡県	山梨県
H27	46.7%	52.9%
H28	51.5%	64.5%
H29	48.2%	56.9%
H30	※	58.6%
R1	67.4%	67.2%

(※富士宮登山口の赤外線カウンターの故障により計測不能)

徴収された協力金は、主に富士山の環境保全、登山者の安全管理・サポートに使われています。また、2018年度に使われています。また、2018年度に使われた金額の65%が登山者への安全対策・救護所の運営経費など、14%が環境保全外来植物の侵入防止対策、ごみの持ち帰りマナー周知、21%が協力金を集める経費(人件費など)に使われています。

徴収率は、年度により変動しています。当初、協力金の認知度が周知されればされるほど、徴収率が上がると予想されていましたが、実際には、5割、7割を推移しています。要因の1つとして、天気が悪い日が多い年は、その年の協力金の協力率が下がる傾向があるようです。ザックに防水カバーを付けたたり、レインウェアを着ていると財布を出しにくいことが原因として考えられます。

協力金の課題

協力金は先述した通り、日本各地で導入が進められています。しかし、課題もいくつか存在します。主な課題として制度の弱さが挙げられます。富士山の徴収率からも分かる通り、徴収率が想定より下がる可能性があることや安定した徴収率に届かないことが指摘されています。

この課題を解消するために、日本各地で様々な取り組みがされています。例えば、大山隠岐国立公園では、定額支払制度年間パスポートのような仕組みが導入されています。また、妙高山では、QRコードを用いた電子決済での支払いが可能となっています。

皆さん、もし富士山をはじめとする自然保護地域に出かけられる際は、協力金制度にご協力いただけると嬉しいです。



(富士山での協力金徴収の様子。協力金を支払うと記念品をもらうことができる。年度によって記念品の種類が異なるので毎年、協力に来る人もいろいろだ!)

新任レンジャー紹介

これまで、国立公園を含む自然保護地域の管理・利用に関する研究を大学院で行っていました。研究を進めて行く中で、実際に現場から学んでいくことの必要性を感じ、大学院を休学して富士山レンジャーになりました。皆さんから愛される富士山を目指して、一生懸命頑張っていきます。



福島 雅之



お気に入りの風景@高指山



ブロッシュ ドナルド ミツル

There is no separation between man and nature. Although, man is also just a part of the process called "nature." When I look out into the wild, I see myself. Through my work as a National Park Ranger, I will continue to look out to experience all the wonders and miracles of the natural world, and through this, I hope to learn much more about myself and contribute to the natural process.

「人」と「自然」に区別はない。しかし、「人」は「自然」というプロセスの一部にすぎない。「自然」を見つめると、自分が見える。富士山レンジャーの活動を通して、自然を見つめ続け、自然の驚異と奇跡を体験し、自分をより深く知ることができ、「自然」というプロセスに貢献できたいと思います。

富士山世界遺産センターだより19号

富士山世界遺産センターでは、七月二十八日(木)から九月二十六日(月)まで本年度第1回の企画展「富士の神事・芸能と病」を開催いたします。これに先立ち実施した調査活動の一端についてご紹介し

十二ヶ岳の信仰を探る

御坂山地の十二ヶ岳^{ねんぼ}周辺はかつて「富士山の根場」といわれ、役行者伝説も残る、修験系の信仰拠点として重要な場所であったと考えられています。

十二ヶ岳に伝わる信仰を調査すべく、去る六月十六日(木)、富士



写真1 十二ヶ岳の調査(「御行堂」(役行者堂)跡力)



写真2 十二ヶ岳山頂の二つの祠

山レンジャーの協力のもと十二ヶ岳に登りました(写真1)。頂上付近には岩場も多く、ここが富士山での修行に臨む修験(山伏)のトレーニングの場であったという伝承が示す通りの険しさでした。苦勞して到達した山頂には、二つの祠がありました。溶岩製の祠は旧西湖村分(旧八代郡)、木造の祠は旧大石村分(旧都留郡)と考えられます(写真2)。どちらもよく整備されており、現在まで信仰が続いている様子が確認できました。

流行病と法養

十二ヶ岳の近隣にある権現山(足和田山)もかつては修験の拠点でした。十二ヶ岳や権現山には「ホウエ

ン」(法役、法印)修験)が二派に分かれて争い多くの死者が出たという伝承が存在します。

この伝承は、現在にも影響を及ぼしています。それを示すのが、富士河口湖町の長浜で毎年六月初旬に執り行われる「ホウエンサマ」です。この行事は、昭和初年(一九二〇年代末)に長浜を襲った腸チフス・赤痢の流行に起源をもつといわれています。困った村人が占つてもらったところ、流行病は争いで死んだ無縁仏の祟りだという結果が出たため、権現山に供養塔を建立し法要を行うようになったとのこと。つまり、「ホウエンサマ」は、富士北面の修験の信仰が流行病を契機に形を



写真3 長浜の「ホウエンサマ」

変えて現在まで続いているものがあるといえます。

今年の「ホウエンサマ」は六月五日(日)に行われました。権現山(足和田山)にある供養塔の前に地元の高船神社の氏子が集まり、東光寺の住職が供養のお経をあげ、御札が配布されました(写真3)。

十二ヶ岳の信仰や「ホウエンサマ」の行事は企画展で紹介する予定です。ご期待ください。

令和4年度 第1回企画展「富士の神事・芸能と病」

- ◇会期 2022年7月28日(木)～9月26日(月)
- ◇会場 富士山世界遺産センター南館
富士山ステーション
- ◇内容 湯立・獅子神楽・六斎念仏など富士山の北面に伝る民俗芸能や神事を取り上げ、それらに込められた病氣平癒への祈りを紹介します。
- ◇観覧料 無料

■山梨県立 富士山世界遺産センター 南館展示紹介2



前号では全体像として南館を紹介しましたが、今回は、現物展示やりニユールした。パネルを少し詳しく紹介します。

●「行衣」 おやま

御山(富士山)への登山は修行であり、「浄土」(仏の住む世界)と考えられていた山頂への旅でもあった。そのため、死への旅立ちと同じような白い帷子(行衣)を身に着けました。

行衣は晒木綿さいしの単衣で、死装束と同様に左前を合わせ、帯や頭のかぶりものも結び目を縦結びとした。腰に下げた鈴を鳴らし、掛け念仏を唱えながらゆっくりゆつくりと頂上をめざしました。



行衣

●「女神像の変容」



静岡県裾野市の茶畑浅間神社には、十、十一世紀に造られた浅間神像二体が祀られています。ともに四面の顔があり、これらは全て女神です。

忍野八海にほど近い忍野村の忍草浅間神社の女神像は一面の神として表されています。二体の男神像が付随しており、一三、一五年に造られました。三〇〇年の間に浅間神の表現方法も大きく変化していますが、その理由は明らかになっていません。



あさまのかみ
浅間神 女神像



女神と大日如来の習合

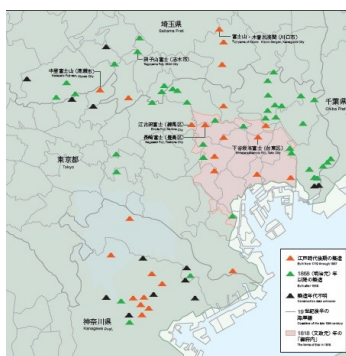
●「江戸の富士の山開き」 〜江戸とその周辺の富士〜

十八世紀なかばになると、江戸やその周辺を拠点とする富士講は、富士山を模した塚「富士塚」を築くようになりました。



したや
下谷坂本富士 (台東区下谷)

下谷坂本富士の開山祭



江戸(東京)とその周辺の富士塚



富士山美化啓発キャンペーンボランティア大募集!!

登山シーズンを迎え、登山者や観光客にゴミの持ち帰りを呼びかけるとともに、環境保全のための清掃活動を行うボランティアを募集します。皆様のご参加、お待ちしております。

実施期間：8月10日(水)～14日(日) ※期間中は何日でも参加できます。

9時集合～11時30分散散予定

活動場所：富士山パーキング(富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-84)

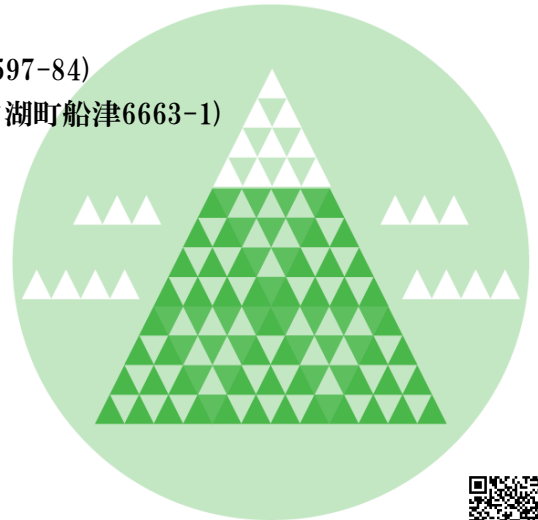
集合場所：富士山ボランティアセンター(南都留郡富士河口湖町船津6663-1)
(山梨県立富士山世界遺産センター北館内)

募集人数：各日10名程度

持ち物等：帽子、飲み物、カップ、動きやすい服装等

募集締切：8月4日(木) 午後5時まで

※野外での活動です。マスク着用の上、
各自感染症対策および熱中症対策もお願いします。



詳細はこちらのHPをご覧ください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/topics/fujisan-bikakeihatsu-cp.html>

富士山レンジャー写真展 2022



山梨県富士山レンジャーの視点で撮影した美しい風景や植物、富士山が抱えている問題など紹介しています。
巡回中に撮られた写真から富士山の環境保全について考えるきっかけとなれば幸いです。ぜひご覧ください。

巡回展の日程など詳細はこちらのHPから→

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/topics/fujisanranger-photoexhibition.html>



富士山憲章 (行動規範)

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的としています。

■編集・発行 富士山ボランティアセンター
(富士山憲章山梨県推進会議)

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
(富士山世界遺産センター北館内)
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114
E-MAIL: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジンを希望する方は、「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」の会員登録画面より登録してください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/index.html>